



【 件 名 】 和光市勤労福祉センター「アクシス」利用継続に関する陳情

【 要 旨 】 従来どおり、和光市勤労福祉センター「アクシス」を利用継続できるよう求める

【 理 由 】 私共はアクシスの施設利用者です。これまで健康維持・増進のため、アクシスを利用してきました。しかし、事前連絡も何もなく突然、市の産業支援課より3月をもって一部利用を廃止との連絡があり、驚愕しました。アクシスは市民と働く労働者のための建物です。何故突然このような納税者と利用者を見捨てた一方的な知らせ方なのか全く理解できず、利用者それぞれが市へメールや電話にて利用継続のお願いと問い合わせをしました。

市長公約である事業総点検のもと、市の一方的な判断が実施されましたが、3月議会で本件は否決され、6月の議会で再度審議予定とのこと。

市は、詳しいことが決まったら再度お知らせすると言いましたが、市の一方的な決定に到底納得できるものではありません。

アクシスの利用仲間は、アクシスの一部利用廃止も大変問題にしていますが、最も問題なのは、この件に限らず、最近、市が市民の声に全く耳を貸さずに一方的に何でも決めてしまうことにあります。例えば、今回の件において一番理解できないのは「丁寧な説明をして利用者に理解していただく」とする内容が、利用廃止について市の決定方針となるまでに利用者の意見を全く聞かず、方針を公示した後にアンケート用紙を配り、回収しながらも意見を汲み取らないこと。また、6月議会で可決されての決定と伝えておきながら、今回の説明会で市の方針を議会で認めてもらうと言いつつ、利用者を全く無視した廃止のシナリオを昨年市が決めていたことです。

アクシスは、市の北地域における健康増進のためのスポーツ交流の施設です。市の予算には、限りがあるのは理解しております。しかし、利用者である市民との意見交換を重ねて、決定に至るプロセスをちゃんと踏み、本当の意味での「丁寧な説明をした上で決定をする」ように市議会に要請します。

令和4年6月1日

和光市議会議長 齊藤克己 様

陳情者代表者 氏名

住所 埼玉県和光市

(ほか署名者20名)